

	目標	世界の現状
 <p>1 貧困をなくそう</p>	<p>あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせよう</p>	<p>1日に1ドル90セント未満で暮らす人は世界で7億3400万人に上る(2015年、世界銀行)。減少傾向が続いていたが、昨年は新型コロナウイルスの影響で新たに7100万人が極度の貧困に陥つたとみられる</p>
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>飢餓を終わらせ、全ての人々が一年を通して栄養のある十分な食料を確保できるようにし、持続可能な農業を促進しよう</p>	<p>世界の9人に1人が栄養不良、子供の4人に1人が栄養不良による発育不全の状態にある。安定的で持続可能な農業が開発途上国に根づくことが生活に安心をもたらし、子供の教育や女性の地位向上につながる</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進しよう</p>	<p>2000年以降、はしかの予防接種で1560万人の命が救われた。妊婦の死者数は37%減少した。しかし、コロナ禍で約70カ国で子供の予防接種プログラムが中断し、逆戻りしない取り組みが求められている</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>全ての人々が受けられる公正で質の高い教育の完全普及を達成し、生涯にわたって学習できる機会を増やそう</p>	<p>世界で6億人以上の若者が読み書きや計算ができず、貧困の連鎖をもたらしている。学校に通えない子供の半数以上は、サハラ以南のアフリカに集中する。オンライン学習を受けられない子供は少なくとも5億人</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>男女平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力の可能性を伸ばそう</p>	<p>列国議会同盟 (IPU) によると、昨年の世界各国の議会における女性議員の割合は、平均25.5%で、1995年から2倍以上に伸びた。日本は9.9%で、193カ国のうち166位</p>
 <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>全ての人々が安全な水とトイレを利用できるように衛生環境を改善し、ずっと管理していけるようにしよう</p>	<p>毎年200万人以上が下痢性の病気で死亡している。主な原因は劣悪な衛生環境と安全でない水の摂取や使用。世界では40億人がトイレを使用できず、8億9200万人が屋外で排泄している</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>全ての人々が、安く安定した持続可能な近代的エネルギーを利用できるようにしよう</p>	<p>電力を利用できていない人は世界で7億8900万人(2018年時点)。各国で再生可能エネルギーへの取り組みが進められ、17年にはエネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合が17%に</p>
 <p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>誰も取り残さないで持続可能な経済成長を促進し、全ての人々が生産的で働きがいのある人間らしい仕事に就くことができるようにしよう</p>	<p>2016年時点で世界の労働者の61%に当たる20億人がインフォーマル・セクター(法人格のない企業)で働いている。このうち16億人が、コロナ禍の影響で生計手段を失う恐れがある</p>
 <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>災害に強いインフラを作り、持続可能な形で産業を発展させイノベーションを推進していこう</p>	<p>多くの開発途上国では、道路、排水路、情報通信技術、給水施設、公衆トイレなどの基礎インフラが整備されていない。整備されると、生産性と所得が上がり、経済成長が進む</p>
 <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>国内及び国家間の不平等を見直そう</p>	<p>一部の富裕層に資産が集中し、貧富の格差が拡大している。最貧困層世帯の子供が5歳になる前に死亡する確率は、最富裕層の子供の3倍。コロナ禍の影響は障がい者や難民、子供など弱い立場の人が受けやすい</p>
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>安全で災害に強く、持続可能な都市及び居住環境を実現しよう</p>	<p>世界人口の約半数が都市に暮らし、貧富の差からスラムも発生している。都市住民の90%は安全ではない空気を吸っており、大気汚染の死者は420万人。新型コロナウイルスの感染者も都市部に集中</p>
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>持続可能な方法で生産し、消費する取り組みを進めていこう</p>	<p>世界で1年間に生産される食料の3分の1(13億トン)が利用されずに捨てられている。一方、2050年まで現在の生活を続けて、世界人口が96億人に達すると、地球3個分の資源が必要になる</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じよう</p>	<p>地球温暖化により各地で異常気象や自然災害が増えている。平均海面は1901年から2010年までに19センチ上昇した。各国は、パリ協定に沿って温室効果ガスの排出量を抑制していかなければならない</p>
 <p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続可能な形で利用しよう</p>	<p>海洋は人間が出す二酸化炭素の約30%を吸収し、地球温暖化を和らげている。現在、生物多様性を守るため海洋保護区が増加。海の管理は難しいが、協力して海洋環境を保全していかなければならない</p>
 <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>陸上の生態系や森林の保護・回復と持続可能な利用を推進し、砂漠化と土地の劣化に対処し、生物多様性の損失を阻止しよう</p>	<p>森林伐採などの環境破壊が生物の絶滅を招いている。生態系が崩れると、人類にも深刻な影響が及ぶ。干ばつと砂漠化により、毎年、耕作が可能な1200万ヘクタールの土地が失われている</p>
 <p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>持続可能な開発のための平和的で誰も置き去りにしない社会を促進し、全ての人々が法や制度で守られる社会を構築しよう</p>	<p>世界では毎日100人の市民が紛争で死亡。紛争や迫害で故郷を追われた人は2019年末時点で7950万人と過去最多を記録した。平和で公正な社会をつくるには、人々の積極的な政治参加が必要</p>
 <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p>	<p>目標の達成のために必要な手段を強化し、持続可能な開発にむけて世界のみみんなて協力しよう</p>	<p>開発途上国に対する世界の政府開発援助 (ODA) の総額は1474億ドル(2019年)。国家の取り組みに加え、企業や地域共同体、学校、家庭でそれぞれが課題解決に努めることが重要</p>

※左の表の17の目標は、日本ユニセフ協会「SDGs副教材(2021年度版)」から引用しています。「世界の現状」は、国連発表の「事実と数字(Facts and Figures)」(18年12月現在)、国連広報センター発表の「持続可能な開発目標(SDGs)報告2020」などを基に作成しています